

第5回新市の名称に関する小委員会次第

日時：平成16年3月26日（金）14:00～

会場：上越市市民プラザ第3会議室

開会

1 審議

新市の名称についての審議のまとめ

2 その他

閉会

新市の名称に関する小委員会報告のイメージ

新市の名称に関する小委員会は、協議会から示された論点の整理の内容にしたがい、合併に合わせて上越市の名称を変更する場合は、上越市が最終的な判断を行うことが前提となることを確認の上、市の名称についての議論を行った。

議論の結果、共有することとなった共通認識や発言された意見を取りまとめ、以下のとおり報告を行う。

1. 市の名称について

共通認識

- ・上越市の名称が「上越後」という歴史的由来からきている。
- ・上越市となってから約 35 年間が経過したことの重みを考慮すべきである。

意見...上越市の名称を変更するかどうかについては、意見の相違があった。

その内容は次のとおりである。

(「変えない」とする意見)

- ・歴史的な由来を尊重し変えるべきでない。
- ・名称の由来が違う上越新幹線(上州・越後)と一緒に議論するのはおかしいので、変えるべきではない。
- ・編入合併では市名変更の事例がほとんどないことと、上越市となつてからの 35 年の重みを尊重し、変えるべきでない。

(「変える」とする意見)

- ・歴史的由来が違うが、上越新幹線とは「響き」の面で混同されやすく、また「ネームバリュー」も弱いことから変えるべきである。
- ・合併するのであるから、新しくスタートするという観点と編入であっても気持ちは対等(新設)との観点から変えるべきである。
- ・名称を変えることにより、市民の一体感の形成につながる。
- ・合併後に市名を変更することは二度手間であり、経済的負担を考え、合併時に変えるべきである。

2. 市の名称を考え、判断するための手法について

共通認識

- ・考えられる手法としては、シンポジウム、アンケート、学識者の意見聴取などがある。

意見...アンケートについては、次のとおり意見の相違があった。

(「実施してほしい」とする意見)

- ・アンケートは新しいまちの一体感を生み出すための良い手法であり、14 市町村一斉で実施してほしい。

(「慎重」を求める意見)

- ・この時期に全体を網羅してアンケートをとることはなじまず、アンケートを一つの集約とすることはできかねる。

3. その他

共通認識

- ・この 14 市町村の合併は、自治体数・面積ともに規模が大きなものとなるため、相互の理解と尊重が不可欠である。
- ・21 万の新市民がともに手を携えて新しいまちをつくって行くためには、市民の一体感の形成が重要である。
- ・市の名称を変えるかどうかの議論の過程も相互の理解を深める意味において重要である。

平成 年 月 日

上越地域合併協議会 会長 木浦正幸 様

に関する小委員会
委員長

小 委 員 会 調 査 審 議 報 告 書

本小委員会が調査、審議を指定された事項について、上越地域合併協議会小委員会規程第8条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 1 調査、審議事項
- 2 調査、審議の経過 別紙小委員会資料及び小委員会会議録のとおり
- 3 調査、審議の結果 別紙のとおり